

ヴァイオリンと共に

椿太陽 ヴァイオリニスト

二歳でヴァイオリンに出逢ってから、この楽器を手放したことは一度もない。一番身近な存在で、いつも一緒。親友のような恋人のような、とても大切に近い存在だ。仕事のパートナーとして、どこかへ出掛けるときは必ず私の左肩にヴァイオリンケースがぶら下がっている。楽しいことも辛いことも全部一緒に過ごしてきた。

二歳のときに父が私にヴァイオリンを与えてレッスンに通い始めた頃の記憶はあまりハッキリと覚えてはいないが、毎週レッスンに通うのが楽しかったことは覚えている。この頃は熱海に住んでいて、レッスンス場の小田原まで父の運転する車で通っていた。ちよつとした遠出だったので、遊園地に遊びに行くような感覚だったのかもしれない。少し早めに家を出て、レッスンの前にドーナツ屋さんでお茶をするのも楽しみの一つだった。

人生のほとんどをヴァイオリンと共に過ごすようになる程まで、何故この楽器にここまで惚れ込んだのか。その理由はこの楽器が発する「音色」にある。

私の家には、二十世紀の巨匠と呼ばれる名ヴァイオリニスト達のCDがたくさんあり、いつも家の中に巨匠達の音色が響いていた。クライスラー、テイボー、エルマン、ハイフェッツ、ミルシテイン、グリユミオー・・・彼らの演奏を聴きながら育ったのだ。

幼稚園くらいになると彼らの演奏の凄さに魅力を感じ、自分でCDを再生するようになった。夜も毎晩彼らの演奏を聴きながら眠りについてた。同じヴァイオリンという楽器であるのに、演奏者によって全く違う音色に変わることがとても不思議だった。

中でも私の一番のお気に入りにはグリユミ

オーだった。幼い私は、グリユミオーのとても美しく透명한響きに惚れ込んでしまった。世界一美しい音色だと思った。時間があればグリユミオーのCDを何度も何度も聴いていた。このときには既にヴァイオリンがとても好きになっていたのだろう。どうすればグリユミオーの音が出せるだろうかと、彼と同じ音が出したくて毎日毎日必死で練習をした。左指の弦の押さえ方、右手の弓の持ち方、力加減、CDを聴いては自分で弾いてみて色々試行錯誤したのを覚えている。

そのような日々を送っているうちに、「自分はヴァイオリニストになりたい、ソリストとしてステージに立つんだ」という決心が芽生えた。美しい響きを出すことを一番の課題にしていた。これは今現在も変わらない。

ヴァイオリンを良い音で響かすのには日々の練習が大事だが、それだけではない。

ヴァイオリンのコンディションを最良の状態に管理するのもヴァイオリニストの仕事なのである。ヴァイオリンという楽器はとてもデリケートで、ワガママな楽器なのである。湿気ている環境は絶対に避けなくては行けないし、今の季節のように乾燥し過ぎていてもダメなのである。高温でも低温でも故障してしまう。特に私が使っているような古いオールドヴァイオリンはとても敏感で湿度管理だけでもとても大変だ。四季があり、そして梅雨がある日本の気候はヴァイオリンにとって過酷な環境である。除湿機と加湿器は我々にとって必需品だ。

そして、ヴァイオリンの中に魂柱（こんちゅう）と呼ばれる細い柱が立っているが、これは接着されている訳ではなく、表板と裏板に挟まれているだけである。この魂柱の位置を、ほんの0.1ミリ動かしただけで出てくる音色が全く変わってしまうのだから面白い。

魂柱の位置をヴァイオリンが一番良く鳴る場所に定期的に調整してやる必要がある。この作業はプロの職人さんに頼まなければならない。職人さんによってもそれぞれ調整の仕方が違うので、自分に合った調整をしてくれる職人さんとの出逢いも大切なことである。私がいまもお世話になっている職人さんは、幼稚園のときから私の楽器を調整してくださっていてもう長いお付き合いになる。職人さんがいなくてはヴァイオリニストは演奏活動ができなくなってしまう。とても大切な存在だ。

日々の練習と、楽器の管理。この二つは決して怠ってはいけない重要な仕事だ。日々探求をして「自分の音色」を造っていく。このようにして造った音色をコンサートでお客様に届けるわけだ。

これから先も美しい響きを求め、ずっとヴァイオリンと共に過ごしていくだろう。この命ある限り。

椿太陽 公演情報

- ♪ 椿太陽バレンタイン ミニ・コンサート
2015年2月14日(土) 13:30 開演
東京 日暮里サニーホールコンサートサロン
 - ♪ エカチエリーナ・リヒテル リサイタル
2015年2月14日(土) 19:00 開演
東京 日暮里サニーホールコンサートサロン
 - ♪ 齋藤恵理&椿太陽 デュオ・リサイタル
2015年4月4日(土) 13:30 開演
東京 日暮里サニーホールコンサートサロン
- お問い合わせ：一般社団法人 東京国際芸術協会
☎03-3809-9712 FAX 03-3809-9711
<http://www.tiaa-jp.com>